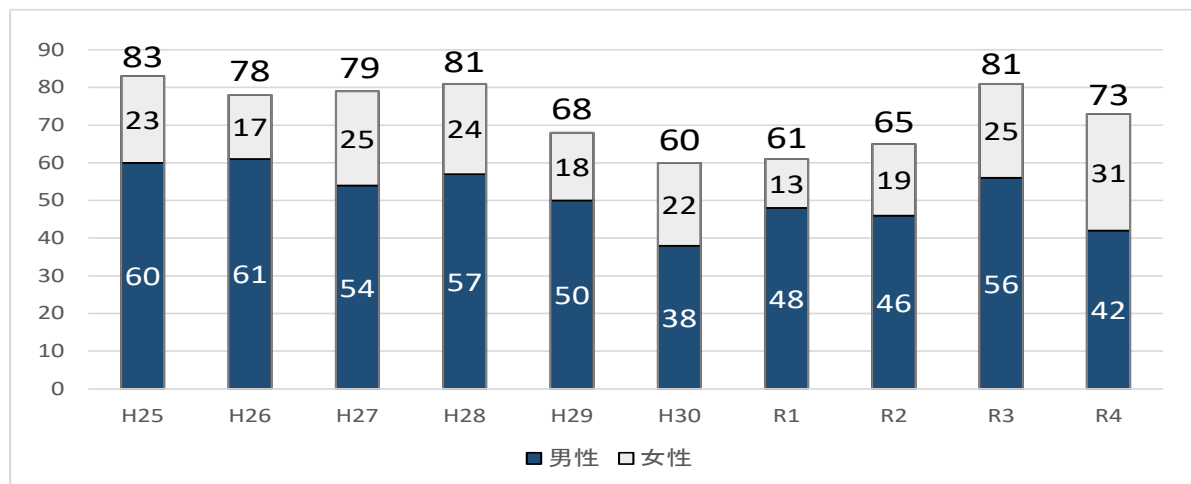


倉敷市における自殺の概要と令和4年度の施策の実施状況について

倉敷市自殺対策基本条例第10条に基づき、本市における自殺の概要及び施策の実施状況を議会に報告するとともに、市民に公表します。

【自殺の概要】

①自殺者数・男女別自殺者数の推移
単位（人）



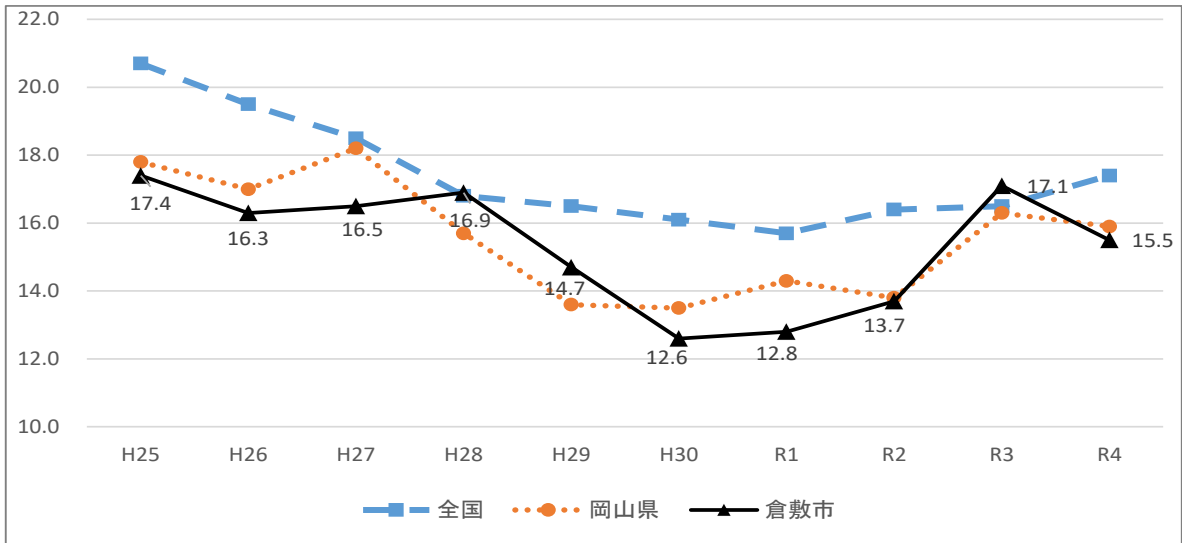
	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
総数	83	78	79	81	68	60	61	65	81	73
男性	60	61	54	57	50	38	48	46	56	42
女性	23	17	25	24	18	22	13	19	25	31

資料：人口動態統計（厚生労働省）

令和4年の自殺者は73人（男性42人、女性31人）となっており、前年から8人減少しました。男女別に見ると57.5%が男性でした。また女性の自殺者割合が前年に比べ約10%増加しています。

②自殺死亡率の推移

単位：人口 10 万人対



全国、岡山県、倉敷市 自殺死亡率（人口 10 万人対）と（ ）内数字は自殺者数

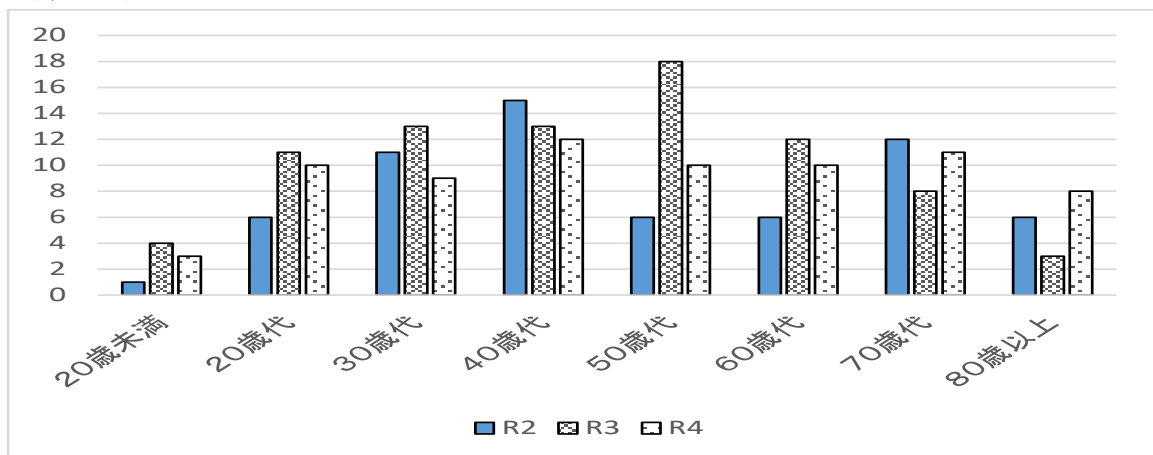
	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
全国	20.7 (26,063)	19.5 (24,398)	18.5 (23,152)	16.8 (21,017)	16.5 (20,465)	16.1 (20,031)	15.7 (19,425)	16.4 (20,243)	16.5 (20,291)	17.4 (21,252)
岡山県	17.8 (340)	17.0 (324)	18.2 (346)	15.7 (298)	13.6 (264)	13.5 (254)	14.3 (266)	13.8 (257)	16.3 (301)	15.9 (292)
倉敷市	17.4 (83)	16.3 (78)	16.5 (79)	16.9 (81)	14.7 (68)	12.6 (60)	12.8 (61)	13.7 (65)	17.1 (81)	15.5 (73)

資料：人口動態統計（厚生労働省）

倉敷市の自殺死亡率は前年より 1.6 ポイント低くなっています。岡山県、全国より低くなっています。

③各年代の自殺者数（R2～R4）

（単位：人）

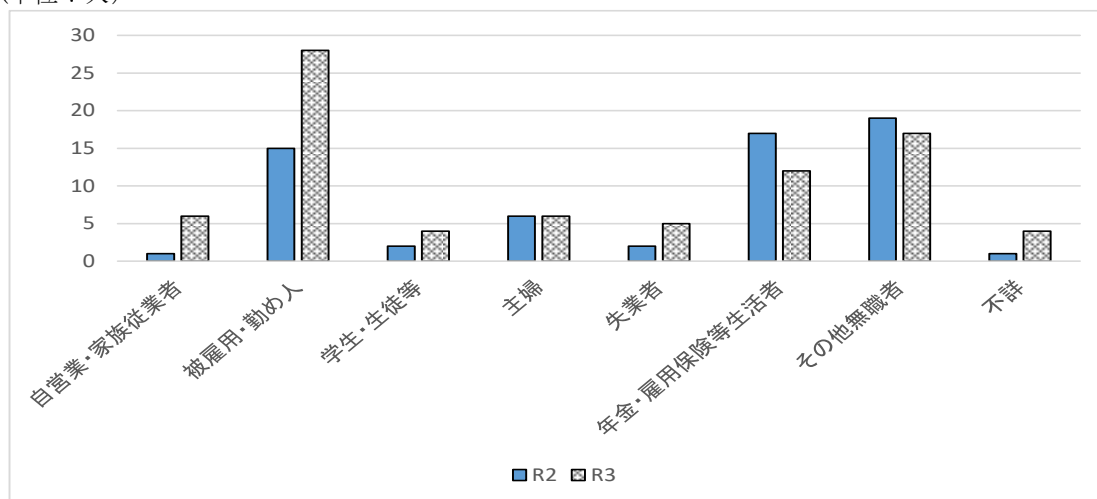


（厚生労働省：地域における自殺の基礎資料より作成）

各年代の自殺者数をみると令和 4 年は「40 歳代」が最も多くなっています。また、70 歳代、80 歳代の自殺者数が前年より増加しています。

④-a 職業別自殺者数 (R2~R3)

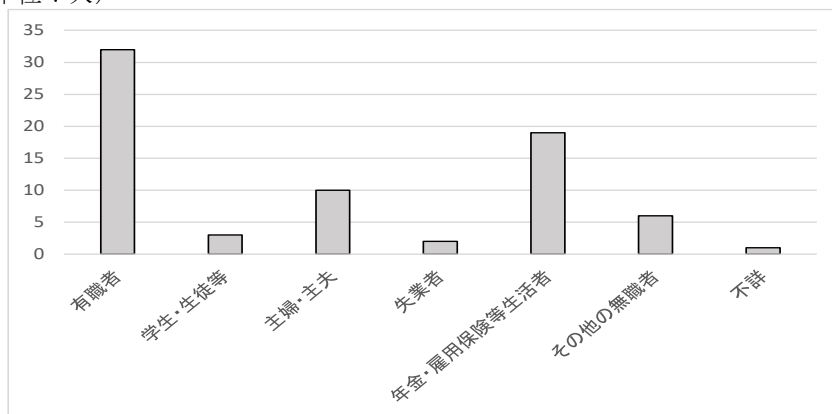
(単位：人)



(厚生労働省：地域における自殺の基礎資料より作成)

④-b 職業別自殺者数 (R4)

(単位：人)



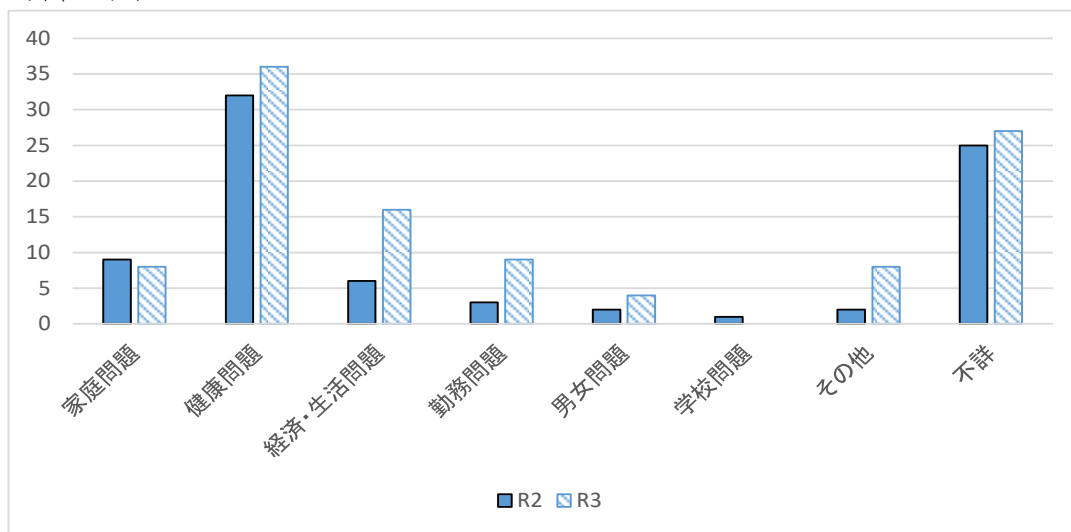
(厚生労働省：地域における自殺の基礎資料より作成)

令和4年1月から自殺統計の見直しにより、自営業・家族従事者および被雇用・勤め人は有職者として表されるようになったため、別のグラフで表しています。

職業別で見ると「有職者」が最も多く、次いで「年金・雇用保険等生活者」が多くなっています。

⑤-a 原因・動機別自殺者数 (R2~R3)

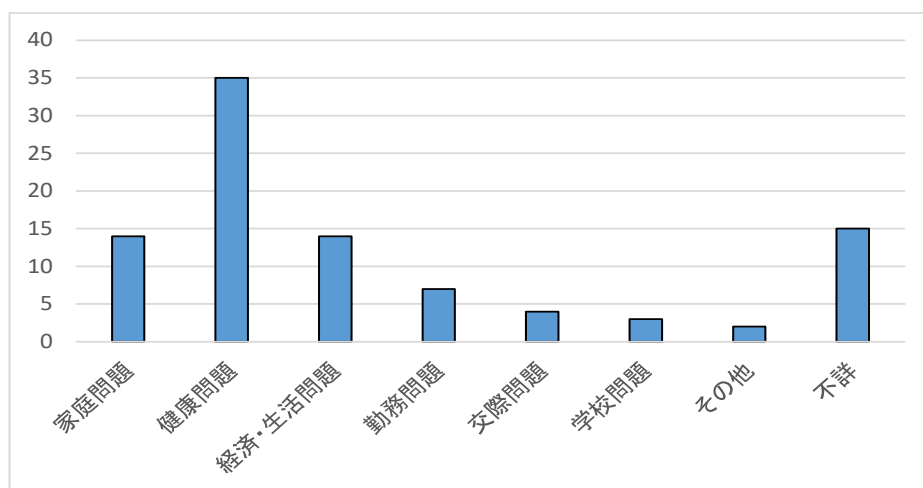
(単位：人)



(厚生労働省：地域における自殺の基礎資料より作成)

⑤-b 原因・動機別自殺者数 (R4)

(単位：人)

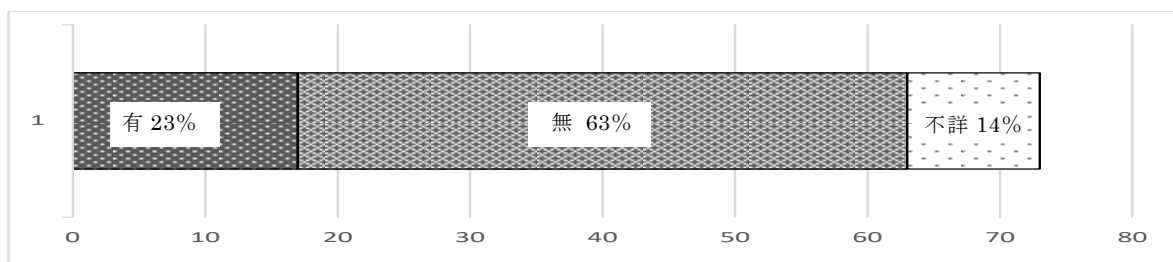


(厚生労働省：地域における自殺の基礎資料より作成)

令和4年1月から自殺統計の見直しにより、原因・動機については令和3年までは自殺者1人につき3つまでとしていましたが、令和4年からは、家族等の証言から考える場合も含め、1人につき4つまでとなったため、別のグラフで表しています。

原因・動機別では令和4年は「健康問題」が最も多く、次いで「経済・生活問題」、「家庭問題」となっています。

⑥ 自殺未遂歴の有無 (R4)



(厚生労働省：地域における自殺の基礎資料より作成)

自殺者の23%が自殺未遂歴があります。